



あなたにとって豊かな未来とは— アートの観点から SDGsの先を探ろう

社内連続講座

今回のゲストは「越後妻有 大地の芸術祭」や「瀬戸内国際芸術祭」などアートプロジェクトのマネジメントを担ってきた桑原康介さんです。アーティスト、地元住民、行政、企業をつなぐ「調整役」を果たし、予算とスケジュールの緻密な管理も担ってきました。2021年にはSDGsをテーマとした「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」にも携わりました。



芸術祭は地域に「創造性」の種をまきます。
豊かな未来とは何か、なぜSDGs達成が重要なのか、アートの事例を通じて一緒に考えましょう。数多くの国際芸術祭を運営してきた桑原さんから、立場や価値観の違う人々が集まって一つのプロジェクトを実現するために必要なことも教えてもらいます。

写真は「越後妻有 大地の芸術祭」より
①草間彌生「花咲ける妻有」 ②イリヤ & エミリア・カバコフ「棚田」
=いずれもphoto Nakamura Osamu



講師 アートプロジェクトマネージャー 桑原康介さん

日時 6月17日(金) 13時~14時

開催場所 東京新聞 1階ホール Zoomウェビナー同時中継

配信URL [》 クリックする](#) (パスコード：904029)



★質問募集★ SDGsやアートに関する質問を事前に受けます。当日、会場やオンラインでも質問できます。事前の応募や問い合わせは経済部の押川恵理子 (osikaw.e@chunichi.co.jp) へ。



【桑原さん略歴】酒販店などを営む桑原商店（東京都品川区）の代表取締役。美大在学中から「越後妻有 大地の芸術祭」に関わり、越後妻有（新潟県十日町市）に約10年暮らす。2014年に家業を継ぎ、社内にアートやデザインのマネジメント部門を設けた。桑原商店では建築家とアーティストと一緒に自社の古い倉庫をギャラリー併設の飲食店に再生。しゃれた空間で「角打ち」が楽しめる。

(SDGs推進チーム)